

## 付録A 参考文献

### A-1. 必須の出版物

ER 1110-2-1150

事前調査の後の技術

ER 1110-2-1455

影響しあう流れを測定するプログラム

EM 1110-2-1003

水路調査

EM 1110-2-1408

低水路を流下する流れの追跡

EM 1110-2-1409

河道における背水曲線

EM 1110-2-1601

洪水調節水路の水理的な設計

EM 1110-2-1612

水工学

EM 1110-2-4000

川と貯水池の堆砂調査

### A-2. 関連する出版物

Abbott M.B. 1979

「水理計算－自由水面流における理論の要素」 Pitman  
(ロンドン)

アメリカ土木学会 1942 「水理的なモデル」工学マニ  
ュアル No.25、ニューヨーク

アメリカ土木学会 1975 「堆砂工学」 マニュアル 54、  
Vito A. Vanani, Ed, ASCE 作業委員会、アメリカ土木  
学会

アメリカ土木学会.1982「水理的な現象のモデル化：用語  
集」、水理部会の雑誌 vol 108,No.7,pp.845-852

Barkau R.L.1985

「枝状のネットワークにおける非定常流の数学的なモデル」 Ph.D.Dissertation 土木工学部、コロラド州大学、  
Ft. Collins,CO.

Barnes, Harry H, Jr 1967. 「自然水路の粗度特性」、米  
国地質調査所報告 1849、米政府印刷局 (Washington,DC)

Barr 工学社 1972,「水面形決定における横断面データ・  
エラーの影響」、ミネソタ省天然資源の未発表のレポート、  
ミネアポリス (MN)

Beaseley, James G. 1973 「HEC-2 水面形計算モデルに  
おけるオハイオのデータ必要条件の調査」 修士論文、オ  
ハイオ州大学,Columbus,OH.

Badiant, Philip B, and Huber, Wayne C. 1988 「水文  
学と氾濫原解析」 Addison-Westley,New York

Bradley, Joseph N. 1978. 「水路橋の水理学」水理的な設  
計シリーズ No.1 (第 2 版) 道路公社 (現在連邦高速道  
路局,1970, 1978 年 3 月から)

Brownlie, W. R. 1981. 「開水路における流れ深さと土砂  
流出の予測」、レポート番号 KH-R-43A、カリフォルニ  
ア工科大学、パサディナ(CA)

Calkins, D.,他 1978. 「水工学のマニュアル」、CRREL

Carey,W.C. 1963 「河床の形態に関する熱の影響：その  
起こり得る水位－流出への関連」、連邦の諸機関における  
堆砂に関する会議の議事録、出版番号 No.970、農業研究  
所、米農務省、Washingon,DC pp.237-272

Chow, V.T. 1959. 「開水路の水理学」、McGraw-Hill 書店, New York

Colby, B.R., and Scott, C.H. 1965 「河床材料の流出に関する水温の影響」、専門紙 462G、米国地質調査所、Washington, DC

Cunge, J.A., Holly, F.M., and Verwey, A. 1980. 「河川水理学計算の実用的な解釈」、Pitman (ロンドン)

Davidian, Jacob. 1984. 「開水路における水面形の計算」、米国地質調査所の水資源調査技術の中の A15 章、Book 3: 水理学の応用、米内務省

Dubois, P. 1879. 「ローヌ河岸の侵食」Annales des Ponts et Chaussées, Series 5, Vol 18, pp141-195.

Einstein, Hans Albert. 1942. 「流送土砂の輸送公式」、Vol 107, 文書 No.2140, 米国技術者協会、pp561-573.

Einstein, Hans Albert. 1950. 「開水路における堆積物輸送のための流送土砂関数」、米農務省技術的な速報 No.1026、土砂管理局、Washington, DC, 71pp.

Fischer, H. B. et al. 1979. 「内陸と沿岸における混合」、学術紙、New York.

Franco, J. J. 1978. 「設計のためのガイドライン、河川の堆砂問題に関する研究のためのモデル操作とその調節」、米陸軍工兵隊水路試験場、説明書 H-78-1、Vicksburg, MS

Fread, D. L. 1978. 「米国気象局の動的な波モデルの運用」、水文調査研究所、Office of Hydrology、米商務省、NOAA、NWS、Silver Spring, MD

Fread, D. L. 1988. 「NWS DAMBRK モデル：理論上の背景／ユーザー文書」、水文調査研究所、水文研究室、米商務省、NOAA、NWS、Silver Spring, MD

French, R.H. 1985. 「開水路の水理学」、McGraw-Hill.

Gee and Wilcox 1985 Gee, D. M. and Wilcox, D. B. 1985. 「生息地の量を定める二次元の流れモデルの使用法」、水資源についてのコンピュータ適用に関する米土木学会の特別部会の議事録、Buffalo, NY.

Gee, Anderson, and Baird 1990 Gee, D. M., Anderson, M. G., and Baird, L. 1990. 「氾濫原に関する二次元のモデル化」水理学に関する ASCE 会議と、乾燥地に関する水理学/水文学の国際的なシンポジウムの、議事録、San Diego, CA.

Gomez and Church 1989 (Jun) Gomez, B. and Church, M. 1989 (Jun). 「砂利河床河川のための流送土砂堆積・移送公式の評価」、水資源調査、vol 25, No.6, pp. 1161-1186.

Heath, R. E. 1989. 「フェーズ I モデル研究結果、コープランド流域、セントローレンス川」、米軍陸軍工兵隊水路試験場、報告 HL-89-8、Vicksburg, MS.

Heltzel, S. B. 1988. 「I-664 橋・トンネルの研究 (ヴァージニア) ; 堆砂と循環の調査」、米軍陸軍工兵隊水路試験場、テクニカル・レポート HL-88-25、Vicksburg, MS.

- Henderson, F. M. 1966. 「開水路における流れ」 Macmillan.
- Hinds, Julian. 1928. 「水路とサイフォンに関する水理設計」、米土木学会の議事録 Vol 92, New York, NY.
- Hoggan, Daniel H. 1989. 「氾濫原、水文学、水理学へのコンピューターの利用」、McGraw-Hill, New York, NY.
- Johnson, B. H. 1982. 「オハイオ川とその主な支川における非定常流の計算に対する数値モデルの開発」、テクニカル・レポート HL-82, 米陸軍工兵隊水路試験場, Vicksburg, MS.
- Johnson, B. H., Heath, R. E., Hsieh, B. B., Kim, K. W., and Butler, L. H. 1991. 「三次元的な流体力学の開発と証明と、チェサピーク湾の温度モデル」、米陸軍工兵隊水路試験場、テクニカル・レポート HL-91-7, Vicksburg, MS.
- Kim, K. W., Johnson, B. H., and Heath, R. E. 1990. 「チェサピーク湾における三次元流体力学による長期間の数値的なシミュレーション」水理学に関する ASCE 会議と、乾燥地に関する水理学/水文学の国際的なシンポジウムの、議事録、San Diego, CA.
- King, Horace W., and Brater, Ernest F. 1963. 「水理学ハンドブック」、マックグロウ・ヒル書店、ニューヨーク、
- King, I. P. 1988. 「RMA-2V の結合要素のためのユーザーズ・ガイド」、資源管理協会リリース 4.1、Lafayette, CA.
- Lane, E. W., Carlson, E. J., and Hanson, O. S. 1949(Sep). 「コロラド川における低温による土砂輸送の増加」、米土木学会、ASCE、第 19 巻、No.9、pp. 45-46.
- Laursen, Emmett M. 1970 (Apr). 「広い谷における橋の背水」、米土木学会、水理学部会の雑誌 Vol. 96, No. HY4.
- Lee, J. K. 1980. 「複雑な氾濫原において高速道路橋が水理的に及ぼす影響の二次元有限要素解析」、議事録（水資源に関する有限要素の第三インターナショナル会議）The University of Mississippi, Oxford, MS.
- Leopold, L. B., Wolman, M. G., and Miller, J. P. 1964. 「地形的特徴における河川のプロセス」、W. H. Freeman and Co., San Francisco, CA.
- Limerinos, J. T. 1970. 「自然水路における河床粗度観測からのマンニングの係数の決定」、Water Supply Paper 1898B, 米国地質調査所. Lin and Martin 1989 Lin, H-C.
- Lin, H-C. J., and Martin, W. D. 1989. 「ニューポートニューズ水路研究;ヴァージニア;数値モデルの調査」、米陸軍工兵隊水路試験場、テクニカル・レポート HL-89-12, Vicksburg, MS.
- MacArthur, R. C., Wakeman, T., and Norton, W. R. 1987. 「フィッシャーマンズ棧橋の防波堤のための環境問題に関する数値的な評価」、サンフランシスコ地区ナビゲーション・ワークショップ、米陸軍工兵隊サンフランシスコ地区、San Francisco, CA.
- McAnally, W. H., et al. 1984a. 「コロンビア川における複合的モデル化システム」、米土木学会水理学雑誌、第 110 巻、No.3、会報 18652.
- McAnally, W. H., et al. 1984b. 「コロンビア川の複合的モデル化システムの適用」、米土木学会水理学雑誌、第 110 巻、No.5、会報 18796.

- McBean, Edward, and Penel, Jacques. 1984. 「氾濫原の輪郭に関する不確実性解析」、カナダの土木工学雑誌、71, 385-387.
- Molinas, Albert, and Trent, Roy. 1991. 「沖積平野上の川のシミュレーションのための Bri-Stars モデル」、第 5 連邦機関の堆砂部会の議事録、Shou Shan Fan and Yung-Huang Kuo 編、Vol. 2, pp 8-93-8-100,水データ諸機関間の諮問委員会の堆砂に関する小委員会.
- Pariset, Ernest, Hausser, Rene, and Gagnon, Andre. 1966 (Nov). 「河川における氷のカバー(Cover)と塊(Jams)の形成」、米土木学会、水理学部局の雑誌、第 92 巻、No. HY6.
- Petersen, M. S. 1986.河川工学, Prentice-Hall.
- Ponce, V. M. 1989. 「水文学：原則と実行」、Prentice-Hall.
- Rouse, H. 1938. 「水理技術者のための流体力学」、McGraw-Hill, NY.
- Rouse, H. 1959. 「水文学」、John Wiley and Sons, Inc.
- Schaffranek, R. W., Baltzer, R. A., and Goldberg, D. E. 1981. 「単純な水路と複合水路における流れのシミュレーションのためのモデル」、C3 章、アメリカ地質調査所の水資源調査の技術、Washington, DC.
- Schumm, S. A. 1977. 「河川のシステム」、John Wiley and Sons, Inc.
- Simons, D. B., and Richardson, E. V. 1966. 「沖積平野上の水路における流れに対する抵抗」、専門紙 442J、米国地質調査所、Washington, DC.
- Simons, D. B., and Senturk, F. 1976. 「土砂輸送技術」、水資源出版、Fort Collins, CO.
- Smith, R. H. 1978. 「小さい蛇行河川の洪水追跡モデルの開発」、博士論文、土木工学部、University of Missouri at Rolla, MO.
- Stewart, J. P., Daggett, L. L., and Athow, R. F. 1985. 「アーカンソー川の水面高さと水面操作に関して、リトルロック地方の空港の滑走路拡張へ提案されたの影響」、米陸軍工兵隊水路試験場、刊行物 HL-85-3, Vicksburg, MS.
- Sverdrup, H. U., Johnson, M. W., and Fleming, R. H. 1942. 「海、その物理学、化学と一般的な生物学」、Prentice-Hall, Inc. Englewood Cliffs, NJ.
- Thomas, W. A., and McAnally, W. H. 1985. 「開水路の流れと堆砂 TABS-2」、ユーザーズ・マニュアル、米陸軍工兵隊水路試験場、指導レポート HL-85-1, Vicksburg, MS.
- Tseng, M. T. 1975. 「高速道路の交差点における洪水危険要因の評価」、橋による背水曲線計算の有限の要素モデル、Report NO. FHWA-RD-75-53, Vol 3,連邦高速道路局、調査・開発室、Washington, DC.
- 米陸軍工兵隊水理学センター1975、「水面形」、水資源開発のための水文学方法、Davis, CA.
- 米陸軍工兵隊水理学センター1982a(Apr.)、「分割した流れにおける HEC-2 の適用」、トレーニング文書 18.

米陸軍工兵隊水理学センター 1982b. 「二次元流のモデル化」、第1回米陸軍工兵隊主催セミナー「二次元流のモデル化」の資料

米陸軍工兵隊水理学センター 1983. 「一次元非定常流のコンピュータープログラムを使用した複雑な氾濫原における洪水追跡」、技術資料 No.93.

米陸軍工兵隊水理学センター 1986. 「計算された水面形の精度」、調査文書 No.26、Davis, CA.

米陸軍工兵隊水理学センター 1988a. 「パソコン上でのHEC-2による水面形の計算」、トレーニング文書 No.26、Davis, CA.

米陸軍工兵隊水理学センター 1988b. 「水面形計算のための事前の解析システム」、ユーザーズ・マニュアル、Davis CA.

米陸軍工兵隊水理学センター(HEC). 1989. 「計算された水面形の精度、補足: 水面形のための市販ガイドライン」、Davis, CA.

米陸軍工兵隊水理学センター 1990a. 「HEC-1 (洪水ハイドログラフ・パッケージ・ユーザーズ・マニュアル)」、Davis, CA.

米陸軍工兵隊水理学センター 1990b. 「HEC-2 (水面形計算ユーザーズ・マニュアル)」、Davis, CA.

米陸軍工兵隊水理学センター 1990c. 「北 UNET を適用した Red River」、企画レポート No.91-01

米陸軍工兵隊水理学センター 1990d. 「HECDSS ユーザーズ・ガイドとユーティリティ・プログラム・マニュアル」 CPD-45.

米陸軍工兵隊水理学センター 1990e(Jun.). 「フェーズ 1 : Caliente 流域の堆砂の調査」、企画レポート 90-03.

米陸軍工兵隊水理学センター 1990f. 「セントヘレンズ山の近くのキャッスル湖における岩屑による泥流の数値的なシミュレーション」、PR-14.

米陸軍工兵隊水理学センター 1991b. UNET のためのユーザーズ・マニュアル、「開水路の完全なネットワークによる一次元非定常流」、Davis CA.

米陸軍工兵隊 (USACE). 1969. 「ミズーリ川水路の制度研究 (オマハ地区)」、MRD 堆砂シリーズ No. 13B, Omaha, NE.

米陸軍工兵隊水路試験場 1991. 「洪水調節水路 (SAM) における水理的な設計パッケージ」、準備, Vicksburg, MS.

米陸軍工兵隊水路試験場 1992. 「マニング式における n-値の予測方法」、洪水調節水路調査プログラム、Vicksburg, MS.

米国内務省、1980。「水理研究所の技術」、米国開拓局、Denver, CO.

米国運輸省、連邦高速道路局、1985。「高速道路の排水管の水理設計」、米運輸省。

米国運輸省、連邦高速道路局、1989。「FESWMS-2DH 有限要素による水面モデル化システム：水平面における二次元流」、出版番号. FHWA-RD-88-177.

米国地質調査所 1977、「水データ収集に関する推奨方法のハンドブック。」

米国地質調査所 1986。「高速道路近くの水路保護のための捨て石設計、第1巻－開水路の水理的な特徴」、水資源調査所、報告番号 86-4127 Sacramento, CA.

Wiegel, R. L. 1964。「海洋技術」、Prentice-Hall 社、Englewood Cliffs, NJ.

Williams, David T. 1988a (May). 「Williamson における堤防設計プロフィール、西バージニア（洪水防御プロジェクト）」、事例研究-HEC-2、ビデオ講義#HEC-703、HEC-2 コース、水理工学センター、Davis, CA.

Williams, David T. 1988b (May). 「水理的な設計における HEC-2 の適用」、講義 L1289、HEC-2 コース、水理工学センター、Davis, CA.

Williams, David T. 1988c. 「Williamson における堤防設計プロフィール、西バージニア（洪水防御プロジェクト）」、米陸軍工兵隊水路試験場、報告 HL-88-4、Vicksburg, MS.

Williams, D. T., and Julien, P. Y. 1989 (Nov). 「砂移動の式のための適用性索引」、米国土木学会技術ノート、水理学雑誌、Vol. 115, No. 11, pp. 1578-1581.

Yang C. T. and Wan, S. 1991 (Aug). 「河床材料荷重公式の比較」、米国土木学会水理学雑誌、Vol. 117, No. 8, pp. 973-989.

### A-3. 参考文献

Gessler, Johannes. 1971. 「土砂運動の開始と終了」、河川力学、第7章、H. W. Shen 編、水資源出版、Littleton, CO.

Nordin, C. F. 1964. 「流れの抵抗と土砂輸送の状況：Bernalillo（ニューメキシコ）の近くの Rio Grande」、米国地質調査所論文 1498-H, Washington, DC.

Thomas, W. A. 1977. 「土砂輸送」Vol. 12、国際水文学10年計画への米国からの投稿、水理工学センター、米軍工兵隊、Davis, CA.

Thomas, W. A. 1980. 「数学モデルの解」土砂輸送中の確率論的な処理の応用、(H. W. Shen and H. Kikkawa, 編)、水資源局出版物、Littleton, CO.

Thomas, W. A. 1982. 「土砂運動の数学モデル化」砂礫河床の河川、R. D. Hey, J. C. Bathurst and C. R. Thorne, Wiley & Sons 編、New York.

Thomas, W. A., and Heath, R. E. 1983. 「Greenville 周辺のミシシッピー川への TABS-2 の適用」、蛇行河川、議事録（川' 83 に関する会議）、米国土木学会、New Orleans, LA.

米陸軍工兵隊、水理工学センター1991a、「HEC-6、河川と貯水池における洗掘と堆積」、Davis, CA.

米運輸省、連邦高速道路局.1984. 「自然水路と氾濫平野においてマニングの粗度係数を適用するためのガイド」 報告番号 FHWA-75-84-204, McLean, VA.